

2019年6月19日

< 報道関係各位 >

ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2019年6月19日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

## ギリアドとNurix、癌およびその他疾患に対する 新たな治療の開発を目的とした戦略的提携を締結

—特異的な標的タンパク質の分解を誘導する新薬を同定するための  
Nurix独自の創薬プラットフォームを提携により活用—

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）と、タンパク質レベルを調節するという生体が本来持つ機能を利用した創薬を行う企業であるNurix Therapeutics, Inc.は6月19日付で、癌および治療困難なその他の疾患に関与する標的タンパク質を分解する一連の革新的治療薬の創薬、開発、および製品化を目的としたグローバルな戦略的提携を行うことを発表しました。

制御不能になったり変異を起こしたタンパク質は、多くのヒト疾患の発症とその進行において中心的役割を果たしています。Nurixの創薬プラットフォームは、ユビキチン系とその成分であるE3リガーゼ（ヒト細胞内のタンパク質レベルを調節する重要な酵素）を操作するものです。

複数年にわたる本提携では、Nurixは同社独自の創薬プラットフォームを活用し、特異的な標的タンパク質の分解を誘導するE3リガーゼを利用して、新たな化合物を同定します。対してギリアドはこの技術から得られる標的の5つまでを新薬候補としてライセンス・インするという選択肢を持つこととなります。また、Nurixは米国で2つのプログラムを限度として共同開発・共同販売を行うという選択肢を引き続き保持します。なお、Nurixが全ての権利を保持している、同社の先行しているプログラムは本提携の対象外となります。

「従来の方法では阻害することが難しかった疾患に関与する分子標的は数多く存在します。」と、ギリアドの研究開発部門のヘッド兼チーフ・サイエンティフィック・オフィサーのジョン・マクハチソン（John McHutchison, AO, M.D.）は述べています。「ギリアドが癌およびその他疾患に対する低分子治療薬のパイプラインを引き続き確立していく上で、Nurixの持つ革新的なタンパク質分解を誘導する創薬技術は、これらの標的を詳細に調べるための新たな戦略を提供するものとなります。」

「ギリアドは、患者にとって革新的となりうる治療をもたらすことができるという意味では理想的な提携先です。」と、Nurixの最高経営責任者であるアーサー・T・サンズ（Arthur T. Sands, M.D., Ph.D）は述べています。「この提携は、タンパク質恒常性の分野で既に確立したNurixの創薬技術に基づき、同社の新たな標的タンパク質分解薬のパイプラインを構築する力を発展させるものです。一方で、当社の先行プログラムは弊社で引き続き独立して臨床に進めていくこととなります。」

契約条件に基づき、Nurixには4,500万ドルの契約前渡金が支払われ、特定の研究、非臨床、臨床、承認申請、および製品化に関するマイルストーンを無事達成すれば、追加で合計約23億ドルまでを限度とした支払いとともに、純売上高に対しては二桁前半までの段階的ロイヤルティーの支払いを受ける資格が与えられることとなります。Nurixが共同開発し共同事業を行うことに同意したプログラムについては、両社は合衆国に関しては開発費用および損益を等分するものとし、Nurixには米国以外の売上高に対する使用料と減額したマイルストーン支払金を受け取る資格が与えられます。

### ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズ・インクは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創薬、開発、製品化するバイオファーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界35か国以上で事業を行っています。ギリアド・サイエンシズに関する詳細については、同社ウェブサイト [www.gilead.com](http://www.gilead.com) をご覧ください。

### Nurix Therapeutics, Inc.について

Nurixは、生体に本来備わっているタンパク質レベルを調節するという機能を利用した創薬を行う企業です。Nurixのパイプラインでは、がん免疫療法を含む血液がんおよび免疫系を介在した疾患を対象とした治療薬の開発に力を入れています。同社は、E3リガーゼに関する生物学および免疫学において国際的に認められた専門家により設立され、ライフサイエンス分野では有数の投資者であるThird Rock Ventures and The Column Groupから資金提供を受けています。本社はカリフォルニア州サンフランシスコにあります。詳細については <http://www.nurix-inc.com> をご覧ください。

### ギリアドの将来予想に関する記述

本プレスリリースは、1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定義される「将来予測に関する記述」に該当し、いくつかのリスク、不確定要素、およびその他の要因を含む場合があります。これには、両社がこの提携から潜在的利益を得られず、ギリアドが癌およびその他疾患の治療薬となる製品候補を創出、開発、および製品化できないリスクなどがあります。歴史的事実以外の全ての記述は、将来予想に関する記述とみなしてください。これらのリスク、不確定要素、およびその他の要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」と著しく異なったものとなる可能性があります。将来予想に関する記述のみに依拠することはお控えください。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2019年3月31日を期末とするギリアド社四半期報告書（フォーム10-Q）で詳細に説明しています。将来予想に関する記述は全て、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

###